

RV340Wルータのワイヤレス基本設定

目的

無線ネットワークは、無線波を介して情報を送信することで動作します。無線波は、有線ネットワークよりも侵入者に対して脆弱になる可能性があります。ルータの基本的なワイヤレス設定を設定することで、ネットワークの安全性を高めることができます。RV340Wルータは、ネットワークセキュリティを強化するためにカスタマイズ可能な同じデフォルトパスワードを使用する4つのデフォルトのService Set Identifier(SSID)を提供しています。

この記事では、RV340Wルータの基本的なワイヤレス設定の設定方法について説明します。

該当するデバイス

- RV340W

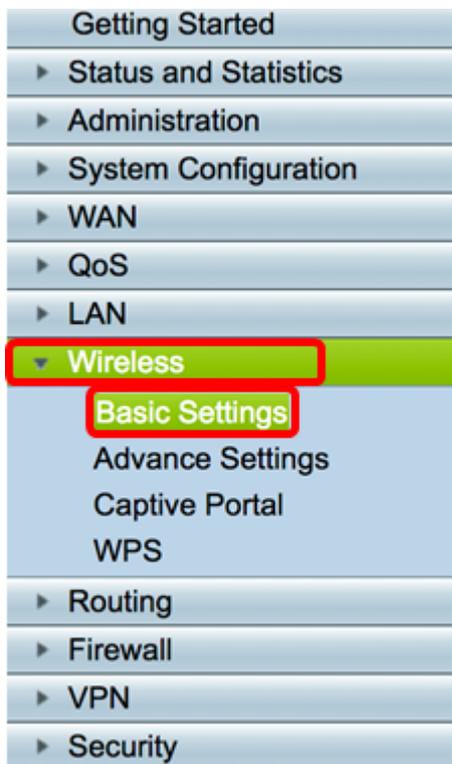
[Software Version]

- 1.0.01.16

ワイヤレスの基本設定

2.4 GHzの設定

ステップ1：ルータのWebベースのユーティリティにログインし、[Wireless] > [Basic Settings] > 2.4Gを選択します。



2.4G 5G

Radio: Enable

Wireless Network Mode: B/G/N-Mixed ▾

Channel Bandwidth: 20MHz 20/40MHz

Primary Channel: Lower Upper

Channel: Auto ▾

U-APSD(WMM Power Save): Enable

MAX Associated Clients: 50 (Range: 0-50)

ステップ2: ワイヤレスネットワークをアクティブにするには、[Enable Radio]チェックボックスがオンになっていることを確認します。このオプションはデフォルトでオンになっています。

注: RV340Wには、ワイヤレス無線用の物理スイッチが搭載されています。このページを操作するには、ONの位置に配置する必要があります。

2.4G 5G

Radio: Enable

Wireless Network Mode: B/G/N-Mixed ▾

Channel Bandwidth: 20MHz 20/40MHz

Primary Channel: Lower Upper

Channel: Auto ▾

U-APSD(WMM Power Save): Enable

MAX Associated Clients: 50 (Range: 0-50)

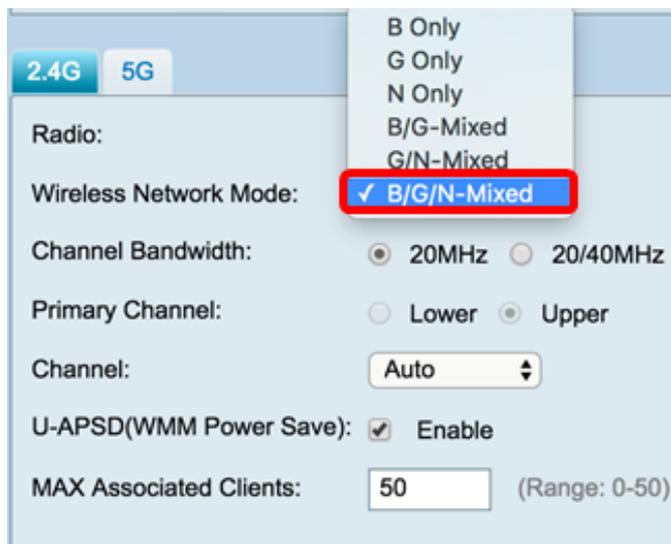
ステップ3:[Wireless Network Mode]ドロップダウンリストで、ワイヤレスネットワークモードを選択します。

次のオプションがあります。

- B/G/N-Mixed: Wireless-B、Wireless-G、およびWireless-Nデバイスがネットワークに接続できるようにします。[B/G/N-Mixed]を選択すると、異なる無線規格を持つ幅広いデバイスをワイヤレスネットワークに接続できます。
- [Bのみ(B Only)]: 802.11b規格のみをサポートするデバイスがネットワークに接続できるようにします。Wireless-Bの最大rawデータレートは11 Mbpsです。この無線帯域のデバイスは、2.4 GHzの周波数範囲で動作する他の製品からの干渉を頻繁に受けます。
- [Gのみ(G Only)]: Wireless-G規格のみをサポートするデバイスがネットワークに接続できるようにします。802.11g規格は、2.4 GHzの周波数範囲で最大レート54 Mbpsで動作します。

- N Only:Wireless-N規格のみをサポートするデバイスがネットワークに接続できるようにします。802.11n規格は、2.4 GHzと5 GHzの周波数帯域で動作します。
- B/G混合：802.11bおよび802.11g規格をサポートするデバイスがネットワークに接続できるようにします。
- G/N混合：802.11gおよび802.11n規格をサポートするデバイスがネットワークに接続できるようにします。

注：ワイヤレスクライアントデバイスが特定のワイヤレスネットワークモードで動作する場合は、そのネットワークモードを選択するのが最適です。たとえば、ご使用のワイヤレスデバイスが802.11N規格のみをサポートしている場合は、[ワイヤレスネットワークモード]ドロップダウンリストから[Nのみ]を選択する必要があります。その後、異なるワイヤレスネットワークモードで動作するデバイスの範囲がある場合は、混合ネットワークモードオプションのいずれかを選択するのが最適です。この例では、[B/G/N-Mixed]が選択されています。



ステップ4：ステップ3で[B/G/N-Mixed]、[N Only]、または[G/N-Mixed]を選択した場合は、ネットワーク上のワイヤレス帯域幅を選択します。それ以外の場合は、ステップ6に進みます。

- 20MHz:B/G/N-Mixed、G/N-Mixed、およびN Onlyネットワークモードで動作しますが、スループットが低下する可能性があります。
- 20/40MHz：ルータが20MHzと40MHzの間で自動的にスイッチできるようにします。スループットは良好ですが、20MHzほど安定していません。

注：この例では、20/40MHzが選択されています。

2.4G 5G

Radio: Enable

Wireless Network Mode: B/G/N-Mixed ▾

Channel Bandwidth: 20MHz 20/40MHz

Primary Channel: Lower Upper

Channel: Auto ▾

U-APSD(WMM Power Save): Enable

MAX Associated Clients: 50 (Range: 0-50)

ステップ5: (オプション) 適切なオプションボタンを選択して、チャンネルをプライマリに設定します。プライマリチャンネルは、20/40 MHzチャンネルのみをサポートするデバイスに使用されます。

注：この例では、[Lower]が選択されています。[チャンネル]が[自動]に設定されている場合、オプションボタンはグレー表示されることがあります。これを変更するには、ステップ6に[進んでください](#)。

2.4G 5G

Radio: Enable

Wireless Network Mode: B/G/N-Mixed ▾

Channel Bandwidth: 20MHz 20/40MHz

Primary Channel: Lower Upper

Channel: Channel 6 ▾

U-APSD(WMM Power Save): Enable

MAX Associated Clients: 50 (Range: 0-50)

[ステップ6:](#)[チャンネル]ドロップダウンリストで、チャンネルを選択します。

注：[Auto]を選択すると、ルータは無線周波数を最も輻輳の少ないチャンネルに自動的に変更できます。2.4 GHzの周波数で動作するデバイスが多数ある場合は、2.412 GHzで動作するチャンネル1または2.462 GHzで動作するチャンネル11を選択することをお勧めします。ほとんどのコンシューマグレードのアクセスポイントは、チャンネル6にデフォルト設定されています。チャンネル1またはチャンネル11を選択すると、デバイス間の潜在的な干渉を排除できます。

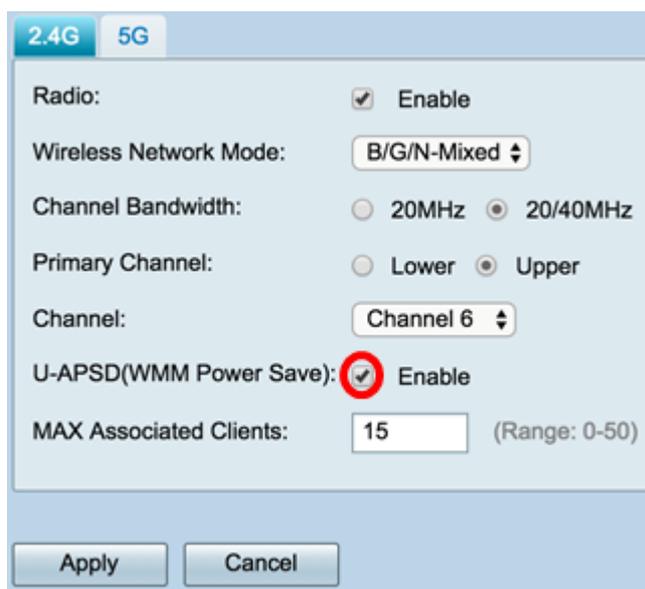
チャンネルの周波数の範囲と速度は若干異なります。低い周波数を選択すると、無線範囲は長くなりますが、速度は遅くなります。周波数が高い場合、無線範囲は短くなりますが、速度は速くなります。この例では、ワイヤレスチャンネルはデフォルト設定である[Auto]のままになっています。

この例では、チャンネル6が選択されています。



ステップ7: (オプション) [U-APSD (WMM省電力)]領域の[有効(Enable)]チェックボックスをオンにして、スケジュールされていない自動省電力配信(U-APSD)機能を有効にします。U-APSDは、Voice over Internet Protocol(VoIP)の利用やWLAN上での全二重方式データの転送など、リアルタイムアプリケーションに最適化された省電力方式です。発信IPトラフィックを音声データとして分類することで、このようなアプリケーションはバッテリー寿命を延ばし、送信遅延を最小限に抑えることができます。

注：この例では、U-APSD(WMM Power Save)が無効になっています。ただし、このオプションはデフォルトで有効になっています。



ステップ8:[MAX Associated Clients]フィールドに0 ~ 50の範囲の値を入力して、無線周波数への関連付けを許可するクライアントの数を制限します。デフォルト値は 50 です。

注：この例では、関連付けられているクライアントの最大数は15です。

2.4G 5G

Radio: Enable

Wireless Network Mode: B/G/N-Mixed ▾

Channel Bandwidth: 20MHz 20/40MHz

Primary Channel: Lower Upper

Channel: Channel 6 ▾

U-APSD(WMM Power Save): Enable

MAX Associated Clients: (Range: 0-50)

Apply Cancel

ステップ9:[Apply]をクリックします。

2.4G 5G

Radio: Enable

Wireless Network Mode: B/G/N-Mixed ▾

Channel Bandwidth: 20MHz 20/40MHz

Primary Channel: Lower Upper

Channel: Channel 6 ▾

U-APSD(WMM Power Save): Enable

MAX Associated Clients: (Range: 0-50)

Apply Cancel

これで、RV340Wルータの2.4 GHz帯域の基本的なワイヤレス設定が正常に設定されたはず
です。

5 GHz帯域の設定

ステップ1:[5G]タブをクリックします。

2.4G **5G**

Radio: Enable

Wireless Network Mode: A/N/AC-Mixed ↓

Channel Bandwidth: 20MHz
 40MHz
 80MHz

Primary Channel: Lower Upper

Channel: Channel 40 ↓

U-APSD(WMM Power Save): Enable

Multi-User MIMO: Enable

MAX Associated Clients: 124 (Range: 0-128)

ステップ2：無線ネットワークをアクティブにするには、[無線を有効にする]チェックボックスがオンになっていることを確認します。このオプションはデフォルトでオンになっています。

2.4G 5G

Radio: Enable

Wireless Network Mode: A/N/AC-Mixed ↓

Channel Bandwidth: 20MHz
 40MHz
 80MHz

Primary Channel: Lower Upper

Channel: Channel 40 ↓

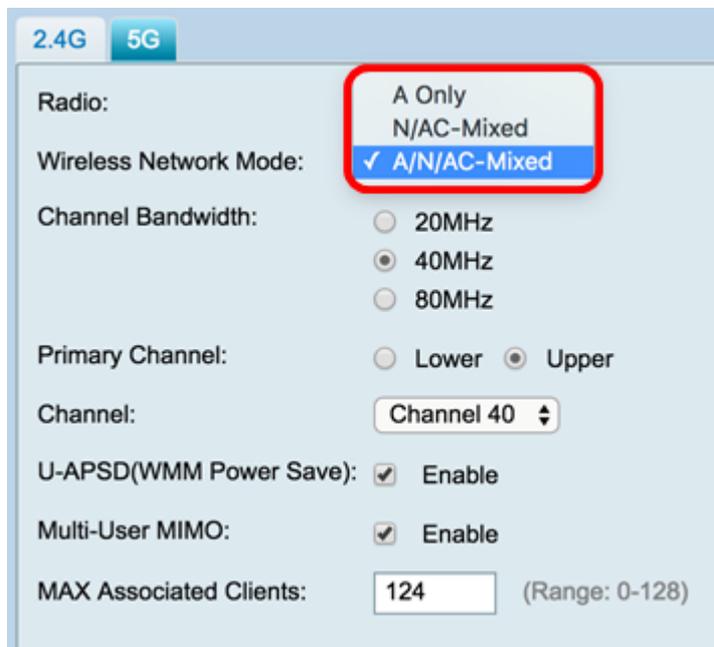
U-APSD(WMM Power Save): Enable

Multi-User MIMO: Enable

MAX Associated Clients: 124 (Range: 0-128)

ステップ3:[Wireless Network Mode]ドロップダウンリストで、ワイヤレスネットワークモードを選択します。次のオプションがあります。

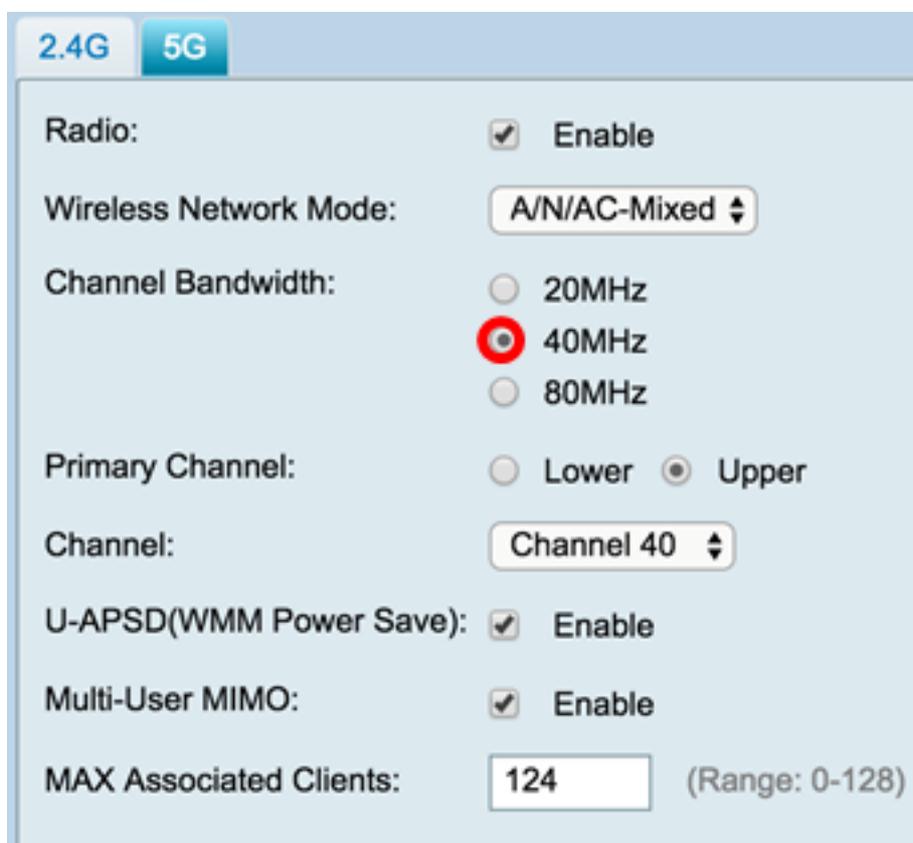
- A専用：5.725 GHz ~ 5.850 GHzで動作し、最大54 Mbpsをサポートします。ネットワークにWireless-Aデバイスしかない場合は、このオプションを選択します。
- [N/AC-Mixed]：ネットワークにWireless-NデバイスとWireless-ACデバイスが混在している場合は、このオプションを選択します。
- [A/N/AC-Mixed]：ネットワークにWireless-A、Wireless-N、およびWireless-ACデバイスが混在している場合は、このオプションを選択します。これは、RV340Wのデフォルトの5G設定です。



ステップ4:[Channel Bandwidth]で無線帯域を選択します。次のオプションがあります。

- 20MHz:B/G/N-Mixed、G/N-Mixed、およびN-Onlyネットワークモードで動作しますが、スループットが低下する可能性があります。
- 40MHz：スループットは良好ですが、20MHzほど安定していません。このオプションを選択すると、プライマリチャネルを選択できます。
- 80MHz：これはデフォルト設定です。ワイヤレスACモードに最適なスループットを実現します。

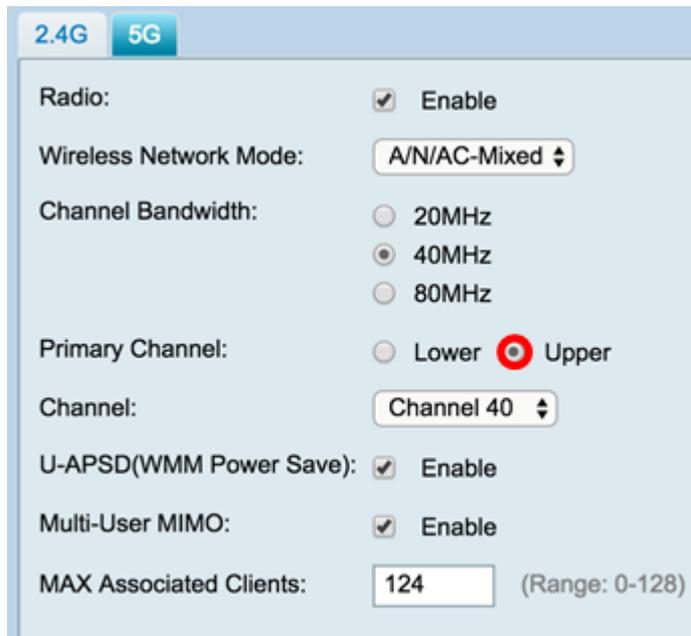
注：この例では、40MHzが選択されています。



ステップ5: (オプション) 適切なオプションボタンを選択して、チャンネルをプライマリに設定します。プライマリチャネルは、20/40 MHzチャンネルのみをサポートするデバイスに使用

されます。

注：この例では、[Upper]が選択されています。[チャンネル]が[自動]に設定されている場合、オプションボタンはグレー表示されることがあります。これを変更するには、ステップ6に[進んでください](#)。

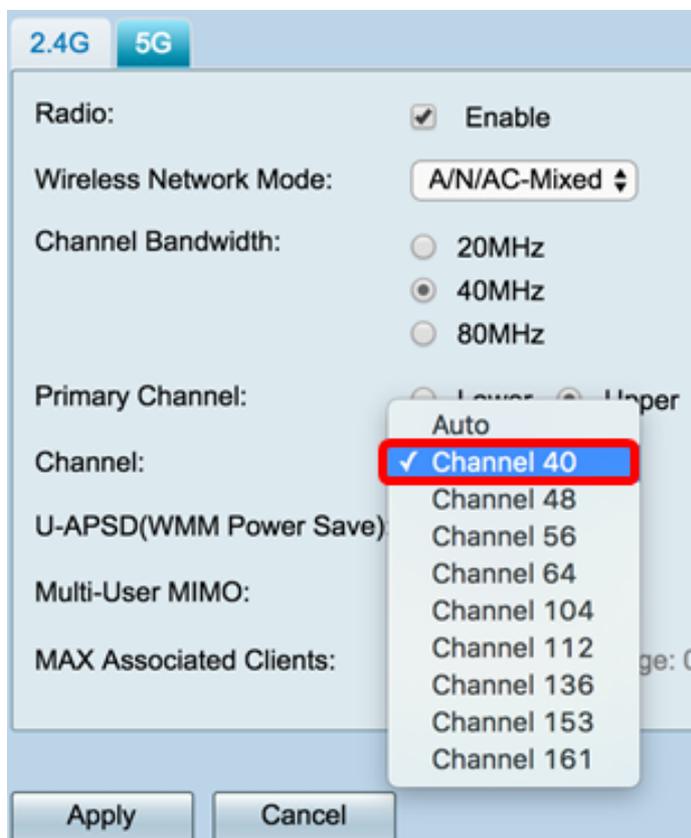


The screenshot shows the 5G configuration window with the following settings:

- Radio: Enable
- Wireless Network Mode: A/N/AC-Mixed
- Channel Bandwidth: 20MHz, 40MHz, 80MHz
- Primary Channel: Lower, Upper
- Channel: Channel 40
- U-APSD(WMM Power Save): Enable
- Multi-User MIMO: Enable
- MAX Associated Clients: 124 (Range: 0-128)

[ステップ6:](#)[Wireless Channel]ドロップダウンリストで、無線チャンネルを選択します。デバイスによって、使用可能なチャンネルは異なります。

注：この例では、チャンネル40が選択されています。



The screenshot shows the 5G configuration window with the Channel dropdown menu open. The menu options are:

- Auto
- Channel 40
- Channel 48
- Channel 56
- Channel 64
- Channel 104
- Channel 112
- Channel 136
- Channel 153
- Channel 161

Buttons for Apply and Cancel are visible at the bottom.

ステップ7: (オプション) [U-APSD (WMM省電力)]領域の[有効(Enable)]チェックボックスをオンにして、スケジュールされていない自動省電力配信(U-APSD)機能を有効にします。U-APSDは、Voice over Internet Protocol(VoIP)の利用やWLAN上での全二重方式データの

転送など、リアルタイムアプリケーションに最適化された省電力方式です。発信IPトラフィックを音声データとして分類することで、このようなアプリケーションはバッテリー寿命を延ばし、送信遅延を最小限に抑えることができます。

注：この例では、U-APSD(WMM Power Save)が無効になっています。ただし、このオプションはデフォルトで有効になっています。

2.4G 5G

Radio: Enable

Wireless Network Mode: A/N/AC-Mixed ▾

Channel Bandwidth: 20MHz 40MHz 80MHz

Primary Channel: Lower Upper

Channel: Channel 40 ▾

U-APSD(WMM Power Save): Enable

Multi-User MIMO: Enable

MAX Associated Clients: 124 (Range: 0-128)

ステップ8: (オプション) [マルチユーザMIMOを有効にする(Enable Multi-User MIMO)]チェックボックスをオンにして、複数のワイヤレスデバイスへの同時ダウンストリーム通信を有効にし、スペクトルをより効率的に使用できるようにします。このコマンドはデフォルトで有効になっています。RV340Wは、マルチユーザ複数入力、複数出力(MU-MIMO)をサポートします。

2.4G 5G

Radio: Enable

Wireless Network Mode: A/N/AC-Mixed ▾

Channel Bandwidth: 20MHz 40MHz 80MHz

Primary Channel: Lower Upper

Channel: Channel 40 ▾

U-APSD(WMM Power Save): Enable

Multi-User MIMO: Enable

MAX Associated Clients: 124 (Range: 0-128)

ステップ9:[MAX Associated Clients]フィールドに0 ~ 128の範囲の値を入力して、無線周波数への関連付けを許可するクライアントの数を制限します。デフォルト値は 124 です。

注：この例では、関連付けられているクライアントの最大数は50です。

2.4G 5G

Radio: Enable

Wireless Network Mode: A/N/AC-Mixed ▾

Channel Bandwidth: 20MHz
 40MHz
 80MHz

Primary Channel: Lower Upper

Channel: Channel 40 ▾

U-APSD(WMM Power Save): Enable

Multi-User MIMO: Enable

MAX Associated Clients: 50 (Range: 0-128)

Apply Cancel

ステップ10:[Apply]をクリックします。

2.4G 5G

Radio: Enable

Wireless Network Mode: A/N/AC-Mixed ▾

Channel Bandwidth: 20MHz
 40MHz
 80MHz

Primary Channel: Lower Upper

Channel: Channel 40 ▾

U-APSD(WMM Power Save): Enable

Multi-User MIMO: Enable

MAX Associated Clients: 50 (Range: 0-128)

Apply Cancel

これで、5 GHz帯域の基本的なワイヤレス設定が正常に設定されました。

ワイヤレスネットワーク名またはSSIDの変更

ステップ1:[Wireless Table]領域で、設定するSSIDに対応するチェックボックスをオンにします。複数のSSIDを同時に編集できます。

注：この例では、ciscosb1 SSIDだけが編集されます。

Basic Settings

Wireless Table				
<input type="checkbox"/>	Enable	SSID Name	Radio	SSID Broadcast
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	ciscosb1	Both	<input checked="" type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	ciscosb2	Both	<input checked="" type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	ciscosb3	Both	<input checked="" type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	ciscosb4	Both	<input checked="" type="checkbox"/>

ステップ2:[Edit]をクリックして、SSIDを変更します。

Basic Settings

Wireless Table				
<input type="checkbox"/>	Enable	SSID Name	Radio	SSID Broadcast
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	ciscosb1	Both	<input checked="" type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	ciscosb2	Both	<input checked="" type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	ciscosb3	Both	<input checked="" type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	ciscosb4	Both	<input checked="" type="checkbox"/>

注：[Add/Edit Wireless SSID Settings]ページが表示されます。

Add/Edit Wireless SSID Settings

SSID Name:

Enable:

Actively applied to Radio:

SSID Broadcast: Enable

Security Mode:

PMF: Not Required Capable Required

Wireless Isolation within SSID: Enable

WMM: Enable

WPS: Enable

ステップ3:[SSID Name]フィールドでSSIDのデフォルト名を変更します。デフォルトのSSID名はciscosb1です。

注：この例では、SSID NameがNetwork_Findに変更されています。

Add/Edit Wireless SSID Settings

SSID Name:

Enable:

Actively applied to Radio:

SSID Broadcast: Enable

Security Mode:

PMF: Not Required Capable Required

Wireless Isolation within SSID: Enable

WMM: Enable

WPS: Enable

ステップ4:[Enable]チェックボックスをオンにして、SSIDを有効にします。最初のSSIDのデフォルト設定は無効です。

Add/Edit Wireless SSID Settings

SSID Name:

Enable:

Actively applied to Radio:

SSID Broadcast: Enable

Security Mode:

PMF: Not Required Capable Required

Wireless Isolation within SSID: Enable

WMM: Enable

WPS: Enable

ステップ5:SSIDが自身をブロードキャストする無線周波数を[Actively applied to Radio]ドリップダウンリストから選択します。次のオプションがあります。

- Both:SSIDは2.4 GHzと5 GHzの両方から適用およびブロードキャストされます。
- 2.4G:SSIDは2.4 GHz帯域からのみ適用およびブロードキャストされます。
- 5G:SSIDは5 GHz帯域からのみ適用およびブロードキャストされます。

Add/Edit Wireless SSID Settings

SSID Name:

Enable: 2.4G
 5G

Actively applied to Radio: Both

SSID Broadcast: Enable

Security Mode:

PMF: Not Required Capable Required

Wireless Isolation within SSID: Enable

WMM: Enable

WPS: Enable

ステップ6: (オプション) [Enable SSID Broadcast] チェックボックスをオンにして、ワイヤレスクライアントデバイスを表示できるようにします。

Add/Edit Wireless SSID Settings

SSID Name:

Enable:

Actively applied to Radio:

SSID Broadcast: Enable

Security Mode:

PMF: Not Required Capable Required

Wireless Isolation within SSID: Enable

WMM: Enable

WPS: Enable

ステップ7: ドロップダウンメニューから[Security Mode]を選択します。

次のオプションがあります。

- [なし(None)] : これはデフォルト設定です。[Disabled]を選択すると、無線クライアントデバイスを持つ誰でも簡単にネットワークに接続できるように、無線ネットワークはセキュリティで保護されません。
- WEP-64:Wired Equivalent Protection(WEP)は従来のセキュリティタイプです。このタイプのセキュリティでは、A ~ Fの文字と0 ~ 9の数字の組み合わせを使用できます。ネットワーク上のデバイスがWPA/WPA2と互換性がない場合にのみ使用してください。
- WEP-128 : このタイプのセキュリティには128ビットパスワードが必要です。また、セキュリティが高くないため、推奨されません。このオプションは、ネットワーク上のデバイスがWPA/WPA2と互換性がない場合にのみ使用してください。
- WPA2-Personal:WPA2は、Wi-Fi Protected Access(WPA)の最新バージョンです。Advanced Encryption Standard(AES)暗号を使用して、ワイヤレスネットワークを保護します。WPA-Personalと同様に、WPA2-Personalでは、大文字と小文字を区別する文字と数字をパスワードとして使用します。このセキュリティタイプが推奨されます。
- [WPA-WPA2-Personal] : ルーターがWPAとWPA2-Personalの両方の認証を使用するワイヤレス

クライアントに対応できるようにします。

- WPA2-Enterprise:WPA-Enterpriseと同様に、これは通常、エンタープライズネットワークで使用されます。このタイプのワイヤレスセキュリティ設定を完了するには、リモート認証ダイヤルインユーザサービス(RADIUS)が必要です。これを選択した場合は、ステップ9に[進んでください](#)。
- WPA-WPA2-Enterprise : ルータに、WPAとWPA2の両方をサポートするワイヤレスクライアントデバイスを収容できるようにします。また、通常、このタイプのワイヤレスセキュリティ設定を完了するには、RADIUSが必要です。これを選択した場合は、ステップ9に[進んでください](#)。

注 : この例では、[WPA2-Personal]が選択されています。

Add/Edit Wireless SSID Settings

SSID Name:

Enable:

Actively applied to Radio:

SSID Broadcast:

Security Mode: WPA2-Personal

Passphrase: (8-63 ASCII or 64 characters)

PMF: Not Required Capable Required

Wireless Isolation within SSID: Enable

WMM: Enable

WPS: Enable

ステップ8:[WEP-64]、[WEP-128]、[WPA2-Personal]、および[WPA-WPA2-Personal]を選択した場合は、フィールドにパスワードまたはパスフレーズを入力します。

注 : この例では、VeryPasswordはWPA2-Personal用に作成されたパスフレーズです。

Add/Edit Wireless SSID Settings

SSID Name:

Enable:

Actively applied to Radio:

SSID Broadcast: Enable

Security Mode:

Passphrase: (8-63 ASCII or 64 characters)

Show password

PMF: Not Required Capable Required

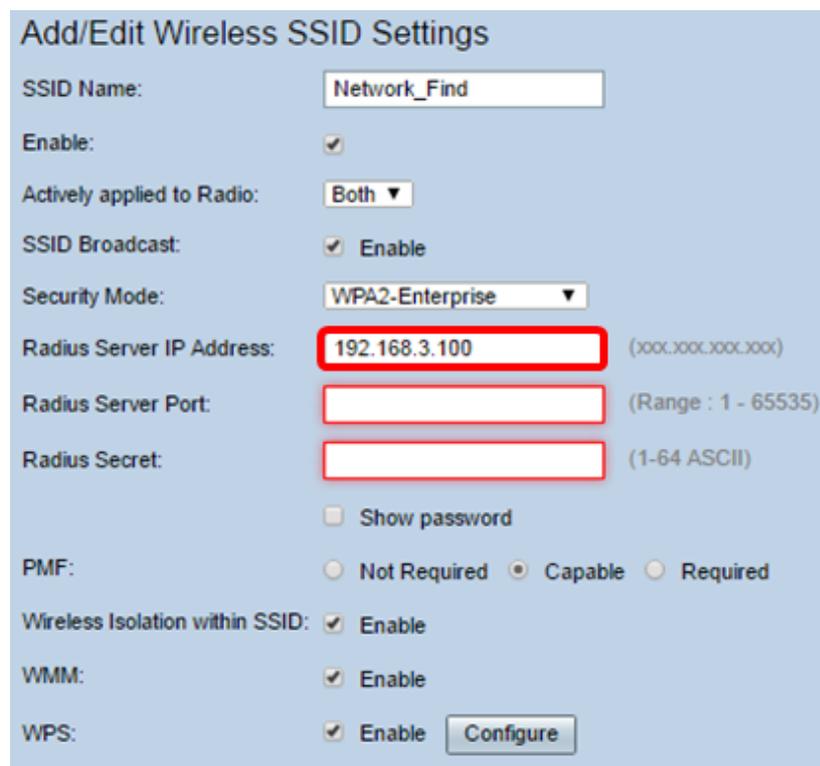
Wireless Isolation within SSID: Enable

WMM: Enable

WPS: Enable

ステップ9:WPA2-EnterpriseまたはWPA-WPA2-Enterpriseを選択した場合は、ステップ9～11を実行します。[Radius Server IP Address]フィールドに、ルータが認証のために接続するRADIUSサーバのIPアドレスを入力します。

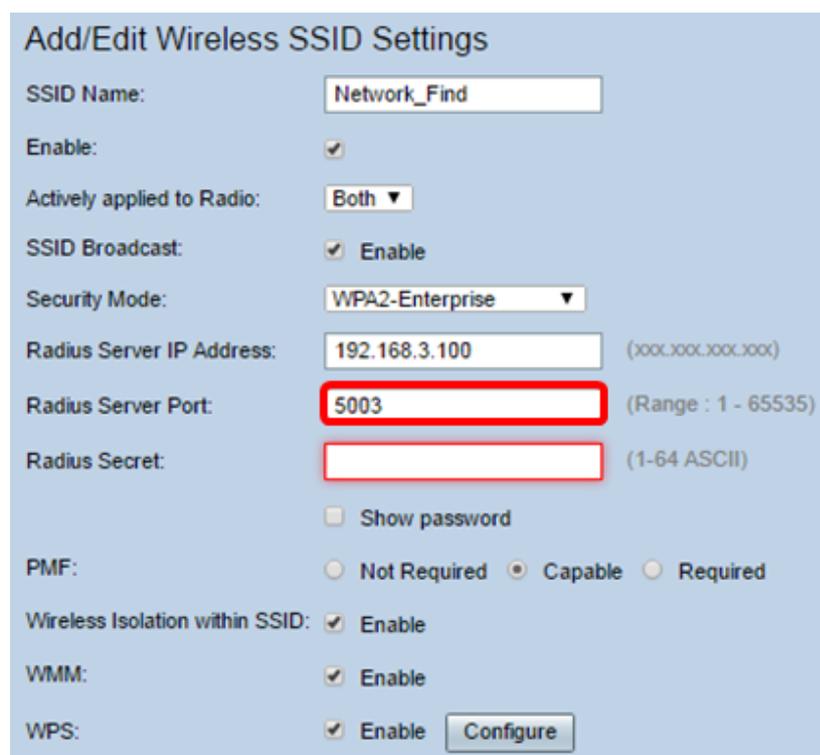
注：この例では、192.168.3.100が使用されています。



The screenshot shows the 'Add/Edit Wireless SSID Settings' interface. The 'Radius Server IP Address' field is highlighted with a red box and contains the value '192.168.3.100'. Other fields include 'SSID Name' (Network_Find), 'Enable' (checked), 'Actively applied to Radio' (Both), 'SSID Broadcast' (checked), 'Security Mode' (WPA2-Enterprise), 'Radius Server Port' (empty), 'Radius Secret' (empty), 'PMF' (Capable), 'Wireless Isolation within SSID' (checked), 'WMM' (checked), and 'WPS' (checked). A 'Configure' button is visible at the bottom right.

ステップ10:[Radius Server Port]フィールドに、RADIUSサーバのポート番号を入力します。

注：この例では、ポート番号として5003が使用されています。



The screenshot shows the 'Add/Edit Wireless SSID Settings' interface. The 'Radius Server Port' field is highlighted with a red box and contains the value '5003'. Other fields include 'SSID Name' (Network_Find), 'Enable' (checked), 'Actively applied to Radio' (Both), 'SSID Broadcast' (checked), 'Security Mode' (WPA2-Enterprise), 'Radius Server IP Address' (192.168.3.100), 'Radius Secret' (empty), 'PMF' (Capable), 'Wireless Isolation within SSID' (checked), 'WMM' (checked), and 'WPS' (checked). A 'Configure' button is visible at the bottom right.

ステップ11:[Radius Secret]フィールドに、RADIUSサーバのシークレットまたはパスワードを入力します。

Add/Edit Wireless SSID Settings

SSID Name:

Enable:

Actively applied to Radio:

SSID Broadcast: Enable

Security Mode:

Radius Server IP Address: (xxx.xxx.xxx.xxx)

Radius Server Port: (Range : 1 - 65535)

Radius Secret: (1-64 ASCII)

Show password

PMF: Not Required Capable Required

Wireless Isolation within SSID: Enable

WMM: Enable

WPS: Enable

ステップ12: (オプション) [パスワードの表示]チェックボックスをオンにすると、パスワードがプレーンテキストで表示されます。

Add/Edit Wireless SSID Settings

SSID Name:

Enable:

Actively applied to Radio:

SSID Broadcast: Enable

Security Mode:

Radius Server IP Address: (xxx.xxx.xxx.xxx)

Radius Server Port: (Range : 1 - 65535)

Radius Secret: (1-64 ASCII)

Show password

PMF: Not Required Capable Required

Wireless Isolation within SSID: Enable

WMM: Enable

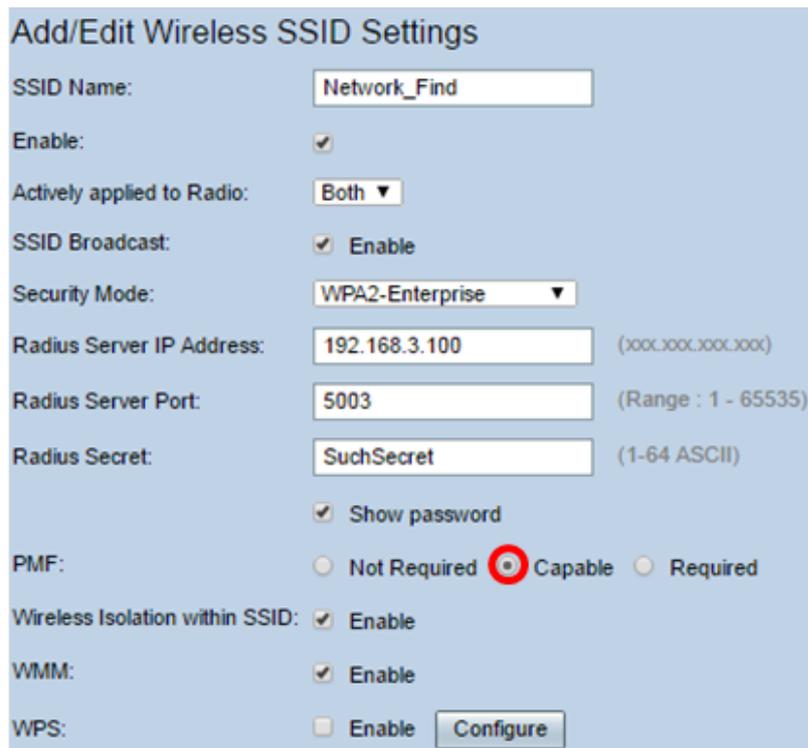
WPS: Enable

ステップ13:PMFエリアのオプションボタンをクリックして、ユニキャストおよびマルチキャストフレームのProtected Management Frames(PMF)を許可します。次のオプションがあります。

- [不要(Not Required)]:PMFのクライアントサポートを無効にします。
- Capable:PMF対応クライアントとPMFをサポートしないクライアントの両方がネットワークに参加できるようにします。これはデフォルトのPMF設定です。
- 必須 : PMFがネゴシエートされている場合にのみ、クライアントの関連付けを許可します。

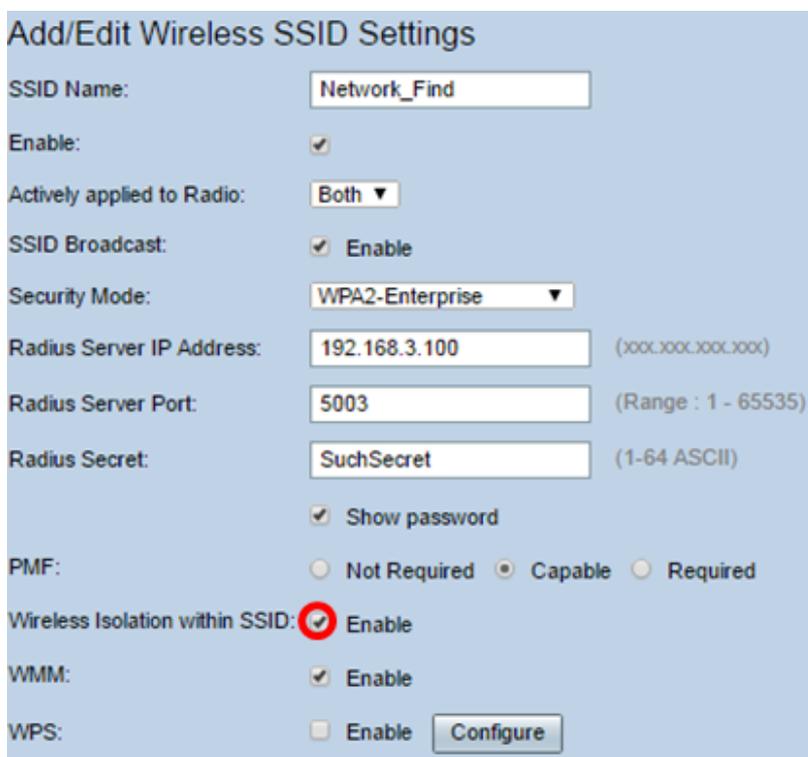
デバイスがPMFをサポートしていない場合、ネットワークとの関連付けは許可されません。

注：この例では、[Capable]が選択されています。



The screenshot shows the 'Add/Edit Wireless SSID Settings' interface. The 'PMF' section has three radio buttons: 'Not Required', 'Capable', and 'Required'. The 'Capable' option is selected and highlighted with a red circle. Other settings include SSID Name: Network_Find, Enable: checked, Security Mode: WPA2-Enterprise, Radius Server IP Address: 192.168.3.100, Radius Server Port: 5003, Radius Secret: SuchSecret, and WMM: Enable.

ステップ14:SSID内でワイヤレス分離を許可するには、[Enable Wireless Isolation within SSID]チェックボックスをオンにします。ワイヤレス分離を有効にすると、同じSSIDに接続されているクライアントは互いにpingを実行できなくなります。この例では、[Wireless Isolation with SSID]が有効になっています。



The screenshot shows the 'Add/Edit Wireless SSID Settings' interface. The 'Wireless Isolation within SSID' checkbox is checked and highlighted with a red circle. The 'PMF' section now shows 'Capable' selected with a red circle. Other settings are the same as in the previous screenshot.

ステップ15:[WMMを有効にする]チェックボックスをオンにして、Wi-Fiマルチメディア(WMM)を有効にします。この機能を使用すると、異なるタイプのトラフィックに異なる処理の優先順位を割り当てることができます。Quality of Service(QoS)を設定して、異なるアプリケーション、ユーザ、またはデータフローに異なる優先順位とパフォーマンスレベルを

提供できません。

Add/Edit Wireless SSID Settings

SSID Name:

Enable:

Actively applied to Radio:

SSID Broadcast: Enable

Security Mode:

Radius Server IP Address: (xxx.xxx.xxx.xxx)

Radius Server Port: (Range : 1 - 65535)

Radius Secret: (1-64 ASCII)

Show password

PMF: Not Required Capable Required

Wireless Isolation within SSID: Enable

WMM: Enable

WPS: Enable

ステップ16: (オプション) [WPSを有効にする(Enable WPS)]チェックボックスをオンにし、クライアントがWi-Fi Protected Setup(WPS)経由で接続できるようにします。WPSの設定方法については、[ここをクリックしてください](#)。

注：この例では、WPSは無効になっています。

Add/Edit Wireless SSID Settings

SSID Name:

Enable:

Actively applied to Radio:

SSID Broadcast: Enable

Security Mode:

Radius Server IP Address: (xxx.xxx.xxx.xxx)

Radius Server Port: (Range : 1 - 65535)

Radius Secret: (1-64 ASCII)

Show password

PMF: Not Required Capable Required

Wireless Isolation within SSID: Enable

WMM: Enable

WPS: Enable

ステップ17：ドロップダウンリストから、SSIDに関連付けられたVLANを選択します。

注：この例では、デフォルト設定のVLAN 1のままにしておきます。

VLAN 1

Time of Day Access: Always On

MAC Filtering: Enable

Captive portal: Enable Default_Portal_Profile

ステップ18：機能させるSSIDの[Time of Day Access]ドロップダウンメニューから時刻を選択します。

注：この例では、[Always On]が選択されています。

VLAN 1

Time of Day Access: Always On

MAC Filtering:

Captive portal: Default_Portal_Profile

MACフィルタリングの設定

ステップ19:[Enable MAC Filtering] をオンにして、ルータがメディアアクセス制御(MAC)アドレスに従ってホストをフィルタリングできるようにします。

VLAN 1

Time of Day Access: Always On

MAC Filtering: Enable

Captive portal: Enable Default_Portal_Profile

ステップ20: (オプション) MACフィルタリングを設定するには、[Configure]をクリックします。

VLAN

Time of Day Access:

MAC Filtering: Enable

Captive portal: Enable

ステップ21：オプションボタンを選択して、ユーザのMACアドレスに基づいてワイヤレスネットワークへのアクセスを許可または拒否します。

注：この例では、[Prevent PC listed the wireless network]が選択されています。

MAC List

SSID: Network_Find

Connection Control: Prevent PC listed below from accessing the wireless network
 Permit PC listed below to access the wireless network

ステップ22: (オプション) [Show Client List]ボタンをクリックして、接続されているワイヤレスクライアントのリストを表示します。

MAC List

SSID: Network_Find

Connection Control: Prevent PC listed below from accessing the wireless network
 Permit PC listed below to access the wireless network

次の表に、次の情報を示します。

- No：接続されているホストの番号またはシーケンス。
- [MAC Address]：接続されているホストのMACアドレス。
- IPアドレス：接続されたホストに割り当てられたインターネットプロトコル(IP)アドレス。
- 無線：ホストが接続される無線帯域。
- Mode：ワイヤレスホストが接続されているモード。
- 認証：ホストがネットワークに対して認証した方式。
- 信号強度：ルータとホスト間の接続の強度。
- [Noise Level]：デバイスが干渉を発生させるレベル。
- Time Connected：ワイヤレスホストがSSIDに接続した時刻。

注：この例では、[Wireless Client List]にクライアントはありません。

Wireless Client List

Connected Clients								
No	MAC Address	IP Address	Radio	Mode	Authentication	Signal Strength	Noise Level	Time Connected

Close

ステップ23:[閉じる]をクリックします。

Wireless Client List

Connected Clients								
No	MAC Address	IP Address	Radio	Mode	Authentication	Signal Strength	Noise Level	Time Connected

Close

ステップ24:[MAC Address]フィールドに、ネットワークへのアクセスを許可または拒否するクライアントのMACアドレスを入力します。

MAC List

SSID: Network_Find

Connection Control: Prevent PC listed below from accessing the wireless network
 Permit PC listed below to access the wireless network

Show Client List

MAC Address Table			
No	MAC Address	No	MAC Address
1	00:00:00:00:00:00	23	<input type="text"/>

ステップ25:[Apply]をクリックします。[Add/Edit Wireless SSID Settings]ページに戻ります。

Apply Cancel

ステップ26: (オプション) [キャプティブポータル(Captive Portal)]領域で、SSIDのキャプティブポータル機能を有効にする場合は[有効(Enable)] チェックボックスをオンにします。キャプティブポータルは、ユーザにアクセス権が付与される前に、ユーザをポータルに転送してログインします。これは通常、公共のワイヤレスインターネットアクセスを提供するビジネスセンター、モール、コーヒーショップ、空港、およびその他の場所で実装されます。

VLAN: 1

Time of Day Access: Always On

MAC Filtering: Enable

Captive portal: Enable

Apply Cancel

ステップ27: (オプション) [Portal Profile]ドロップダウンリストでキャプティブポータルプロファイルを選択します。

注：この例では、[Default_Portal_Profile]が選択されています。

VLAN: 1

Time of Day Access: Always On

MAC Filtering: Enable Configure

Captive portal: Enable Default_Portal_Profile

Apply Cancel

ステップ28:[Apply]をクリックします。

Add/Edit Wireless SSID Settings

SSID Name: Network_Find

Enable:

Actively applied to Radio: Both

SSID Broadcast: Enable

Security Mode: WPA2-Personal

Passphrase: (8-63 ASCII or 64 H...)

Show password

PMF: Not Required Capable Required

Wireless Isolation within SSID: Enable

WMM: Enable

WPS: Enable Configure

VLAN: 1

Time of Day Access: Always On

MAC Filtering: Enable Configure

Captive portal: Enable Default_Portal_Profile

Apply Cancel

構成設定が正常に保存されたことを示す確認メッセージが表示されます。これで、新しく設定されたネットワークでワイヤステープルが更新されました。

Basic Settings

Success. To permanently save the configuration. Go to [Configuration Management](#) page or click Save icon.

Enable	SSID Name	Radio	SSID Bro...	Security Mode	MAC Filter	VLAN	Wireless Isol...	WMM	WPS	Captive Portal
<input checked="" type="checkbox"/>	Network_F...	Both	<input checked="" type="checkbox"/>	WPA2-Personal	Enable	1	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	Default_Portal_Profile
<input checked="" type="checkbox"/>	ciscosb2	Both	<input checked="" type="checkbox"/>	WPA2-Personal	Enable	1	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	Default_Portal_Profile
<input type="checkbox"/>	ciscosb3	Both	<input checked="" type="checkbox"/>	None	Enable	1	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	Default_Portal_Profile
<input type="checkbox"/>	ciscosb4	Both	<input checked="" type="checkbox"/>	None	Enable	1	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	Default_Portal_Profile

Add Edit Delete

これで、RV340Wルータのワイヤレス基本設定が正常に設定されました。

RV34xのルータを知っている場合は、次の記事を参考にしてください。[RV34xシリーズルータに関するFAQ](#)